



山陽小野田市立出合小学校

山陽小野田市立厚狭中学校

児童の熟議参加



道徳授業



テーマに沿った熟議が行われ、子どもたちの積極的な発言から地域の方は元気をもらっていた。

「地域の伝統の大切さ」についての授業に地域の方も参加し、ともに考え、協議する場がもたれた。

山陽小野田市立竜王中学校

山陽小野田市立小野田中学校

海岸清掃



ふるさと学習

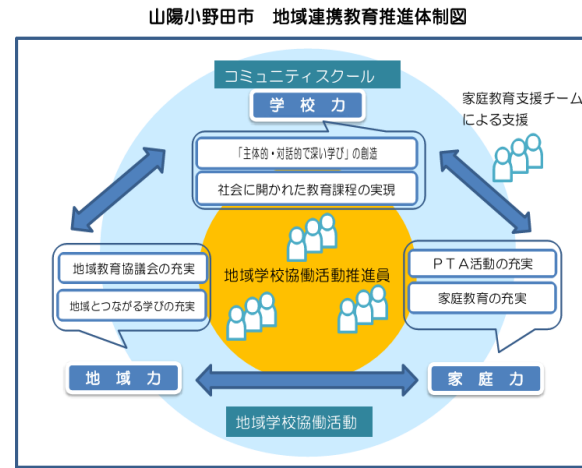


海岸清掃に生徒が自主参加し、地域の方との活動を通し、ふるさとを愛する心の育成が図られている。

校区内の施設を中心に資料収集し、ふるさとの魅力をまとめ、ふるさとマップ作成が進められている。

山陽小野田市の推進構想

- 1 地域力・学校力・家庭力向上プロジェクトの推進
 - 学校と地域・家庭等が連携・協働し、「人が育ち人が輝き、人がつながるコミュニティ・スクールの創造」を図る。
 - 学びを通じて「ひとづくり」「地域づくり」に波及させる「地域学校協働活動」を積極的に推進する。



2 地域連携教育の「成果」と「課題」

【成果】

- 「学校・地域連携カリキュラム」の協議に対する意識の高まりがみられた。
- コロナ禍でありながらも、地域住民と児童生徒がともに考える場の設定に取り組む学校が増えてきた。

【課題】

- 地域コーディネーター(地域学校協働活動推進員)の役割や活動について、教職員の認知度がやや低く、周知が必要である。

3 令和4年度の重点取組事項

- 地域と小・中学校を通じた9年間の「学校・地域連携カリキュラム」の策定と共有の促進
- 地域資源を活用したふるさとを愛する心の育成
- 「地域学校協働活動推進員」の資質向上、及び連携強化に向けた研修機会の提供

4 重点取組事項の進捗を測る指標

- 「学校・地域連携カリキュラム」の協議の場の設定 100%
- 地域住民と児童生徒がともに考える場の設定 90%以上
- 学校・地域の課題について協議する場の設定 90%以上
- 児童生徒の地域ボランティア活動への参加 80%以上
- 地域学校協働活動推進員の認知度 90%以上